

学校生活において配慮すべきこと（モデル案）一宮市立大志小学校

登校前 □健康チェックの徹底（家庭で Google フォームの「健康チェック」を 7:50 までに送信）
□集合場所・通学団（大人数で密集しない、近距離で会話・発声を控える、1 列で並び）

①登校	☐ 手洗い ☐ 手の消毒（昇降口） ☐ 水分補給 ☐ 自席につく（席配置の工夫） ☐ 窓を開ける	可能な限り換気（廊下側と窓側を対角に開ける） マスク着用 近距離で会話をしない 集まらない 咳エチケット 手洗い 目鼻口をさわらない エアコン使用時も換気 扇風機を活用する	★常時換気が難しい場合 →こまめに（30 分に 1 回以上）数分程度、窓を全開
②朝読書 朝の会	☐ 健康観察 ☐ 健康チェックカード回収（一部） ☐ 検温を忘れた子の検温 <全校で実施> ☐教員が確認しながら手洗い （水流し放し・学級毎などローテーション計画）		全ての場面での共通事項 ☆次の 3 つの条件が重なる場を徹底的に避ける
③1 限	☐ 体育の授業は可能な限り屋外で実施する 屋内で実施する場合は常時換気を行う ・屋内で実施する必要がある場合は、特に呼気が激しくなるような運動は避ける ・運動を行っていない場合は、可能な限りマスクを着用する ・特定の少人数（2～3 人程度）での活動を実施する際は十分な距離を空ける ・ボール・用具・器具等の使用前後の手洗い ☐ 次のような学習活動は 感染防止対策を徹底したうえで再開する ・長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等及び近距離で一斉に大きな声で話す活動 ・近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏 ・近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動 ・近距離で活動する調理実習 ・体育で密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする運動		①密閉空間であり、換気が悪い ②手の届く距離に多くの人がいる ③近距離での会話や発声がある
2 限			体調不良者の対応
④中間放課	☐ 近距離で会話・発声を控える ☐ 手洗い ☐ 手の消毒（昇降口） ☐ 水分補給		（登校後も）体調の観察に努める。体調の不調に気づいた場合には、すみやかに養護教諭等と連携し、迅速な対応をとる ☆ 体調不良者との接触機会を減らす
3 4 限	☐ 手洗い		☐ 職員が保健室へ引率 ☐ 基本的に保健室で対応 ☐ 体調不良者とけが人をエリア分けする（体調不良者は図工準備室） ☐ 職員室との連絡手段の確保（携帯） ☐ ベッドは極力使用しない ☐ 発熱、体調不良者は帰宅させる ☐ 緊急対応はできる限り教頭が行う
⑤給食	☐ 手の消毒 ☐ 全員前向き ☐ 配膳台・トレイ消毒 ☐ 給食当番の健康チェック（担任） ☐ 大声での会話を控える ☐ 食事後すぐにマスク着用 ☐ アレルギーのチェック		<その他> ☐ 職員健康チェック ☐ 基礎疾患のある子・教員の把握・対応の確認 ☐ 外部の人を校内に入れない（来校者、連絡先の記入）
⑥掃除	☐ 換気 ☐ マスク着用 ☐ 掃除後に石けんで手洗い ☐ 手の消毒		
昼放課	☐ 近距離で会話・発声を控える ☐ 手洗い ☐ 手の消毒		
⑦5 6 限	☐ 午後の健康観察		
下校	☐ 通学団（大人数で密集しない、近距離での会話、発声を控える、1 列で並び）		
⑧下校後	☐ 必要に応じて保健室や主に子どもが触れる場所の消毒		
⑨家庭で	☐ 手洗い ☐ 健康確認 ☐ 不要な外出は避ける		